

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	レセプト等情報を用いた脳卒中、脳神経外科医療疫学調査(J-ASPECT研
研究責任者	伊地俊介
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	本邦において、脳卒中急性期医療の質が、脳卒中および循環器病の長期予後(脳卒中の再発、循環器病の発症、これらによる再入院と中長期的なQOL)に与える影響は明らかでない。これは長期的な視点で広く脳卒中の再発、循環器病の発症までを追跡、登録する取り組みが無いことに起因している。そこで、この研究では救急搬送を含む入院から退院までの一貫した脳卒中および脳神経外科及び共通のリスクを有する循環器病(急性心筋梗塞、急性心不全、大動脈解離など)治療に関する大規模データベースを構築し、その実用性、妥当性の検証を行うことを目的とする。
研究方法	2010年4月1日～2025年3月31日(予定)の間に、J-ASPECT研究(研究事務局:国立循環器病センター、研究代表者(統括責任者):飯原弘二)に参加している日本赤十字社医療センターに通院・入院された方を対象として、以下のカルテ情報を体部の研究機関へデータ共有して共同研究を進める。 【利用するカルテ情報・資料】 生年月日、性別、発症年月日、入院年月日、退院年月日、退院先 自宅郵便番号、診療報酬算定情報(DPC) 入院経路:救急車による搬送、他院よりの紹介 入院前および入院後生活自立度(modified Rankin Scale score, mRS)、 入院中死亡の有無、脳卒中・循環器病による再入院 初期重症度(JCS、GCS、NIHSS、Hunt & Hess grade、ICH grade、Hunt & Kosnik grade) 神経学的所見 バイタル(血圧・脈拍) 検査データ(血球、生化学;腎機能、LDL-Chol、PT-INR、血糖、HbA1c) 搬送から画像撮影までの時間 搬送から組織プラスミノゲン活性化因子(rtPA、血栓溶解療法)投与までの時間、搬送から血管内治療のための穿刺までの時間 血栓回収を行った場合の再開通度(TICI grade) rt-PA静注療法または血管内再開通療法を施行した患者での36時間以内の症候性頭蓋内出血(NIHSS4点以上悪化)の有無 退院90日後modified Rankin Scale(mRS) 画像診断、検査[MRI、MRA、CT、脳血管造影、頸動脈超音波検査] リハビリテーションの有無、脳卒中・脳神経外科・循環器病関連の診療にかかわる治療内容 【研究参加の不同意について】 治療終了後1週間以内に研究参加への不同意について申し出があった場合、研究対象から除外する。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者:伊地俊介(脳神経外科部長) TEL:03-3400-1311 FAX:03-3409-1604